

地方独立行政法人京都市立病院機構中期目標(案)についていただいた市民意見に対する本市の考え方

NO	御意見がある項目	御意見の要旨	件数	本市の考え方
1	京都市立病院機構が果たす役割に関する事項	市立病院、京北病院がそれぞれの病院における政策的医療の提供に取り組んでいます。 これからも、様々な医療需要へ対応してください。	1	京都市立病院機構においては、例えば、救急医療、災害対策医療、感染症医療、へき地医療などの政策医療（公共上の見地から必要な医療で、民間では必ずしも実施されないおそれがあるもので、通常の医療収入だけでは採算性を確保されないとみなされている医療のこと。）を実施しています。 これからも、引き続き、目標(案)に明記した政策医療を実施するとともに、地域ニーズに応じた医療の提供を進めてまいります。
2		京都ではない他の都市の地方独立行政法人に勤務しているものですが、公立病院は政策医療を実施することが主な目的と思われるので、市から、それ以外の点について、様々な要求をすることは控えるべきだと思います。	1	地方独立行政法人法第3条第3項において、法人の業務運営における自主性を十分配慮することになっているため、市の関与にあたっては、病院の自主性を損なわないよう配慮してまいります。
3		市立病院は、公営の病院として、他の民間病院とは違う使命を持っていると思う。 軽い風邪や慢性病などは市中の中小病院や診療所に任せ、市立病院にしかできない「政策医療」に注力してほしい。 また、外来が混雑しているが、軽症患者は受診できないような工夫はできないのでしょうか。	1	市立病院は、政策医療の拠点として、また、高度な急性期医療を提供する地域の中核病院としての役割を適切に担い、地域における他の医療施設等との役割分担及び連携・協力体制の構築を図ることを目標(案)に明記しています。 今後も、かかりつけ医との連携を強化してまいります。 なお、京都市内は、全国的にみても、医療機関が多い地域であり、新設等を行う予定はございません。
4		これからも地域の他の医療機関との連携により安心できる住みよいまちに寄与されるようお願いいたします。	1	
5		私は市立病院に通院していますが、他の病院で患者が少なくて経営が厳しい病院があると聞いたことがあります。人が少ない場所だからだと思のですが、もし病院を閉鎖することになったら、そこに病院や診療所を設置してはどうでしょうか。	1	

地方独立行政法人京都市立病院機構中期目標(案)についていただいた市民意見に対する本市の考え方

NO	御意見がある項目	御意見の要旨	件数	本市の考え方
6	京都市立病院機構が果たす役割に関する事項	京北病院が担う役割のところに、地域に根差した医療提供を行うと書いてありました。困ったときに頼る大事な病院であるので、京北病院をこれからもずっと続けてください。	1	京北病院は、京北地域における唯一の病院として、診療体制の確保に努め、救急医療をはじめ、回復期や慢性期、在宅医療までを含め、地域に根差した医療提供を行うよう、次期目標(案)に明記しております。 なお、訪問看護についても、引き続き、地域のニーズを把握し、対応していく必要があると考えています。
7		京北地域では、今後ますます在宅での看護が増えてくると思います。訪問看護を強化して京北病院としての役割をきちんと果たしてほしいです。	1	
8		京北病院ですが、旧京北町時代に改築されてから、外来診療棟は築後37年、病棟は24年経過し、かなり老朽化が進んでいて、雨漏りや病室の手狭さが指摘されています。 京北病院は、京北住民にとって安心のよりどころとなる大切な病院であり、旧京北町住民が心血を注いで作った病院です。もとより、その病院を合併後も京都市が維持発展していただいたことに感謝をしているところですが、やはり老朽化という事実は避けて通れないことであり、早晚建替えが必要になってくる課題ですので、すぐにできることではないと承知していますが、早急にご検討をお願いします。 またその際に、京北第一小学校跡地に、新しい京北病院を移転改築することも合わせてご検討をお願いします。	1	
9		京北病院は、京北地域の唯一の病院として、非常に頼れる病院です。しかし、だんだん老朽化が目立ってきたのではないかと思います。「京北病院は、地域のニーズを的確に把握し、…」と書いてありますが、老朽化対策も地域のニーズの1つであると思います。	1	

地方独立行政法人京都市立病院機構中期目標(案)についていただいた市民意見に対する本市の考え方

NO	御意見がある項目	御意見の要旨	件数	本市の考え方
10	市民に対して提供するサービスに関する事項	市立病院は、将来大きな病気になったときに安心して任せられる病院というイメージがある。公的な病院として政策医療を中心に、これからも高い水準の医療を提供し続けてほしい。	1	市立病院は、政策医療の拠点として、また、高度な急性期医療を提供する地域の中核病院としての役割を適切に担い、地域における他の医療施設等との役割分担及び連携・協力体制の構築を図ることを目標(案)に明記しています。 今後も、かかりつけ医との連携を強化してまいります。
11		市立病院は大規模病院らしく、地域の病院や診療所等とは役割を分けて運営してほしい。民業圧迫とならないように注意してください。	1	
12		市民に対し、安心安全な医療の提供に尽力いただいている。 市立病院における質の高い医療への取り組みのおかげで、日々の体調管理は、かかりつけ医で行い、いざというときには市立病院へかかれればよいと思える。 これからも、市民のニーズを反映した効率的効果的な医療の提供を心がけてください。 働いている皆様に、感謝しております。	2	
13		今年台風や地震などの大規模災害が多く発生しています。市立病院として薬の備蓄など必要な対策は確実に実施してほしい。市立病院なので、困ったときに頼りにできるように。	1	
14		最近、台風による大雨や地震といった災害による被害をよく耳にします。今後も、そういった非常時にこそ頼りになる市民のための病院であり続けて欲しいと思います。	2	
15		救急医療について 京都には救命救急センターをはじめ、救急病院はそれなりにあります。 その中で市立病院に求められるのは「便利な病院」です。 夜間休日診療所を市立病院内に移転し、院内診療所とし、トリアージで差し迫った患者でないかと判断された患者を担当させるなど、役割分担を院内で行うべきです。 その上で手術や入院が必要な2次救急の患者に専念すべきです。 院内診療所の医師も検査やCT、MRI診断装置などの施設を共用できるなどのメリットがあります。	1	
16	救急医療のかなめの病院の一つとして、積極的に救急車の受入を行って欲しい。	1		

地方独立行政法人京都市立病院機構中期目標(案)についていただいた市民意見に対する本市の考え方

NO	御意見がある項目	御意見の要旨	件数	本市の考え方
17	市民に対して提供するサービスに関する事項	既に目標(案)に記載がありますが、病気の治療だけでなく、予防ができる施設になるといと思います。 健康講座や検診を定期的に、大きく告知して実施して頂けば、これから増えていく高齢者の健康維持にもなりますし、病気や怪我をした人が行くという病院のイメージも変えられて、より市民に近い施設になれると思います。	1	健診センター事業として人間ドック及び特定保健指導を積極的に行うことや健康教室の開催、患者会の支援等による市民への啓発の取組を進めることについて、目標(案)に明記しております。
18		私は、この中の(6)のア(地域包括ケアの推進)の考えがよいと思います。なぜなら、高齢者になったら足腰が悪くなって、あまり歩けなくなってしまうからです。 そこで地域包括の在宅医療があると、病院に行かなくても家で安心して医療が任せられるので、こんなすばらしいことはないと思います。	1	地域包括ケアの取組について、地元の診療所等と連携のうえ進めてまいります。
19		市内には多数病院があり、選択肢が多い中で、市立病院ならではの取組を前面に出すべきだと思います(例えば、より利用しやすい病児保育の拡充など)。	1	京都市立病院機構においては、例えば、救急医療、災害対策医療、感染症医療、へき地医療などの政策医療(公共上の見地から必要な医療で、民間では必ずしも実施されないおそれがあるもので、通常の医業収入だけでは採算性を確保されないといみなされている医療のこと。)を実施しています。 これからも、引き続き、目標(案)に明記した政策医療を実施するとともに、地域ニーズに応じた医療の提供を進めてまいります。
20		京北病院では、医療・介護とも地域の拠点となり、京北地域の住民が安心して生活できるようにしてほしい。そのための病院(医療及び介護)のスタッフの体制を充実させてください。	1	京北病院では、市立病院との人事交流を実施し、医師をはじめ、専門医、診療放射線技師、臨床検査技師等のスタッフを確保しております。 今後とも、医療機能を十分に発揮できるよう、必要な医療専門職の確保及び医療、介護等に関する高い倫理観と専門知識・技術を持った職員の計画的な育成について、努めてまいります。

地方独立行政法人京都市立病院機構中期目標(案)についていただいた市民意見に対する本市の考え方

NO	御意見がある項目	御意見の要旨	件数	本市の考え方
21	市民に対して提供するサービスに関する事項	<p>京北病院は地域になくてはならない地域医療の要と思うが、京北地域の人口が減少するなか、分相応の規模にダウンサイジングすることもやむを得ないと思います。</p> <p>へき地診療所や無料送迎車両などの高コストなサービスも、利用実績を勘案して縮小、廃止を検討して欲しい。</p>	1	<p>病院施設の老朽化対策(改修工事等)については、必要に応じて、実施してまいります。</p> <p>なお、京北病院の建替につきましては、巨額の建替費用や市立病院機構の厳しい財政状況なども勘案しながら、地域のニーズ等を踏まえ、検討してまいります。</p>
22		<p>京北病院については、建物の老朽化による問題が起こっており、建替えの必要性が迫っているのではないのでしょうか。また、京北病院のあり方を決める必要があるのではないのでしょうか。</p> <p>今回の中期目標期間中に建替えが実施されるのであれば、現地建替えなのか別場所なのか等、重要な事項は中期目標に示すべきではないのでしょうか。これまでの中期目標と変わらないような書きっぷりで、これから4年、京北病院はハード面も含めて、とくに変わらないのですか。</p>	2	
23		<p>京北町が京都市に合併してよかったのは、トンネルの開通と京北病院の充実の2点です。</p> <p>京北病院においては、町内唯一の病院として、市立病院から医師を派遣していただいたり、京北病院では手に負えない患者を市立病院まで無料で送迎するサービスを行うなど、手厚いサービスを提供していただいております。</p> <p>京北病院の施設、設備もやや老朽化が目立ちますが、一部の方が言われるように、すぐに建て替えが必要な状況とまでは言えないと思います。</p> <p>町内の人口減少が止まらない中、ただでさえ不採算と思われる病院に過大な設備投資をして、あげくに町営保育所や小学校のように廃止、統廃合されないか心配しております。行政に無茶な要望をせず。身の丈にあった設備投資の検討をお願いします。</p>	1	
24	市民に対する安心・安全で質の高い医療を提供するための取組に関する事項	<p>待ち時間が長いので改善してほしいです。</p> <p>せめて自分の診てもらえる時間が分かるような工夫をしてほしいです。</p>	3	<p>ふだんの健康維持の相談はかかりつけ医が、専門的な検査等は市立病院が、それぞれ役割分担することで、患者の皆様に必要な医療をスムーズにお届けできるよう取り組んでいます。なお、かかりつけ医からの紹介状をお持ちの方は御予約が可能で、受診当日にお待たせする時間が短縮されます。</p> <p>一方、患者さんの症状等により、診察にかかる時間が異なったり、入院患者さんの急変等に対応するため、診療をお待たせすることもあります。御理解の程、よろしくお願いいたします。</p>

地方独立行政法人京都市立病院機構中期目標(案)についていただいた市民意見に対する本市の考え方

NO	御意見がある項目	御意見の要旨	件数	本市の考え方
25	市民に対する安心・安全で質の高い医療を提供するための取組に関する事項	GWなど、長い休みのときに開いている病院が少ない。長い休み中に1日でもいいので開けてほしい。サービスの向上は大事です。	1	平成28年度から、働くがん患者支援としての長期休暇期間等の一部開院(外来化学療法、放射線治療等)や診療時間の拡大等の取組をしております。
26		市立病院の駐車場の確保に努めてほしい。市立病院に車で訪れる際に、駐車場の待ち時間があるときがあります。	2	患者満足度を客観的に把握したうえで、継続的な改善策を講じ、患者サービスの向上を図ること等を目標(案)に明記しております。 なお、駐車場用地の確保については、用地の関係から、広くすることは容易ではありませんが、公共交通機関の利用促進や、市立病院無料送迎バスの運行など他の方法により、課題解消に努めております。
27		家族が入院した時、駐車券の券を処理してもらうのに住所や氏名の個人情報を入力するのに違和感がありました。 また、北玄関から入ると案内がわかりにくいし、書類が多すぎます。	1	また、患者サービスの向上に関し、いただいた御意見を市立病院機構に情報提供し、各項目について改善の検討を依頼します。
28		京北病院では落語家があるイベントがあるようです。市立病院でも面白いイベントを実施してほしい。	1	市立病院においては、院内コンサートや「看護の日」イベントの実施、健康教室等の各種教室の開催等を行っているところですが、本市としても、市立病院を身近に感じられるイベントは大切だと考えており、市立病院に対し、御意見の主旨について、伝えます。
29		京北病院に通院するための車があつて大変助かっています。人口が減ってきていますが、このサービスは必ず続けてほしい。通院の足がなくなってしまう。	1	京北地域における通院手段の確保については、大きな課題であると認識しています。通院の利便性確保のため、京北病院への送迎事業は今後も継続してまいります。
30		初診時にかかるお金が高い。昔はなかったか安かったか忘れましたが、5,000円も必要なのはおかしいと思います。なくしてください。	2	病院と診療所の機能分担を図る観点から、平成30年度診療報酬改定により、紹介状なしに一定規模(許可病床数400床以上)の地域医療支援病院を受診する場合には、診療報酬である初診料以外に、選定療養費(市立病院では内科5,400円、歯科3,240円。ただし、救急患者等の場合を除く。)を御負担いただくことが義務付けられました。そのため、まず、かかりつけ医を受診していただくようお願いいたします。
31	最後まで市立病院でと思ったが、個室料が高く、転院せざるを得ませんでした。残念です。	1	誰もが公平な負担で、必要かつ十分な医療を受けることができるよう、適切な料金を定めることを目標(案)に明記しております。	

地方独立行政法人京都市立病院機構中期目標(案)についていただいた市民意見に対する本市の考え方

NO	御意見がある項目	御意見の要旨	件数	本市の考え方
32	市民に対する安心・安全で質の高い医療を提供するための取組に関する事項	貧困が広がり、医療費が払えないために治療が受けられない人がいます。無料低額診療事業を実施してほしいです。	1	市立病院については、感染症医療、災害医療などの政策医療の拠点として、また、高度な急性期医療を提供する地域の中核病院としての役割を担っており、既に市内32の医療機関において本事業が実施されております。京都市立病院機構においては、無料定額診療事業の実施を考えておりません。 なお、本制度を必要とされる方に対しては、実施医療機関を紹介するなど適切な対応を行っております。
33	業務運営の改善及び効率化に関する事項	市民へ安心・安全な医療を提供するためには、職員の確保が必要不可欠だと思います。働き手の職場環境を整えるように考えてほしい。ここで働き続けたいと思うような職場環境づくりを、離職防止対策とあわせて重視して取り組むべきです。	10	医療機能を十分に発揮できるよう、必要な医療専門職を確保するとともに、職員のワークライフバランスを確保し、職員が誇りや働きがいを持って職責を果たすことができるよう、環境を整備することを目標(案)に明記しております。 なお、医療専門職など限られた医療資源を活用し、一人でも多くの患者様に、より質の高い医療を提供することを病院における生産性の向上ととらえています。
34		業務運営で人員(医療専門職等)が確保され、職員が疲弊しない環境が必要です。専門性があり、命に関わる現場です。不足のない人員の確保を絶対にするべきです。	3	
35		2(4)にある生産性の向上という言葉には違和感を覚えます。病院で生産性とはどういうことでしょうか。診療報酬のしぼりがある中で、儲けることは困難と思います。職員が働きがいをもって、職責を果たせる職場であることが患者さん満足につながると思います。	1	
36		地域医療を充実させるためには、病院職員が過重労働やメンタルで職場を去ることがなく、安心して健康的に働き続けられる労働環境を整備し、確保することは不可欠と考えます。人材が不足しだすと悪循環から抜け出すのは容易ではありません。早急に改善が必要だと思われれます。 また、離職防止対策とあわせて、環境づくり(職場)と業務量の減少が大事と考えます。	8	
37		働き方改革への対応について、もっと強調したほうが良いと思います。	1	

地方独立行政法人京都市立病院機構中期目標(案)についていただいた市民意見に対する本市の考え方

NO	御意見がある項目	御意見の要旨	件数	本市の考え方
38	業務運営の改善及び効率化に関する事項	地域医療機関と連携して、患者が自宅に帰って暮らせる安心できる医療への方向付けがされているようだが、働き方改革とか職員の削減という中で、どのように実現していくのでしょうか。必要な医療やケアを提供することで再入院を減らしたりなどにもつながるので、必要な経費削減にはばかりとられない根本的な運営に資する市としての市立病院への関与を考えていただきたい。	1	市立病院は、政策医療の拠点として、また、高度な急性期医療を提供する地域の中核病院としての役割を適切に担い、地域における他の医療施設等との役割分担及び連携・協力体制の構築を図ることを目標(案)に明記しています。 今後も、かかりつけ医との連携を強化してまいります。
39		私は、将来、看護師になりたいと思う学生です。公的な病院で、看護師として貢献したいと思いますが、市立病院は、「働き方改革への対応」としてどういったことをしていますか？職員が長く働き続けられる職場環境づくりをしてください。	1	体系的な研修実施等により能力向上、職員提案制度等の活用による業務改善、看護補助者の配置による業務分担等に取り組んでいます。 引き続き、国の議論を踏まえつつ、職場環境の改善に取り組んでまいります。
40		医療は医者次第だと思うので、京北の医療確保のために、確保を続けてほしい。	1	市立病院との人事交流の推進により、診療体制を強固なものとすることを目標(案)に明記しております。
41		外国人観光客だらけの観光都市京都なので、外国人受診者の受入れも積極的に行えるような体制が必要と考えます。イスラム圏の方など、十分に対応できる医療機関が市内にどれだけあるのか疑問です。	1	「訪日外国人旅行者受入可能な医療機関」への選定など、外国人受診者への対応の充実・強化や、受入体制の充実を目標(案)に明記しております。
42		病床機能のことがふれられていますが、公立病院が私達民間医療機関の領域まで入ってきて、民業圧迫することがないようにしてほしい。高度急性期の病院が回復期を始めるのは、何をしたい病院かわからなくなると思います。	1	団塊の世代が全て後期高齢者となる2025年に向けて、京都府地域包括ケア構想により定められた医療提供体制の将来の目指すべき姿を考慮し、京都市立病院機構としてのあるべき姿を早急に検討するように目標(案)に明記しております。
43		病床機能の再構築への対応で市立病院の病床が減らされれば、緊急時に入院できなくなるのではと思います。市民の病床を減らさないでください。いつでも安心して受診、入院できる市立病院にしてください。	2	
44		自治体病院として自立的な運営を期待します。	1	第3期においても、独法化の効果(法人の自主性、法人の意思決定の迅速化等)を活かしつつ、自治体病院としての使命を果たせるよう取り組んでまいります。

地方独立行政法人京都市立病院機構中期目標(案)についていただいた市民意見に対する本市の考え方

NO	御意見がある項目	御意見の要旨	件数	本市の考え方	
45	財務内容の改善に関する事項	不採算医療といわれる感染症医療などにかかる経費について京都市の責任を明記してください。第1期中期目標では、「運営費交付金については京都市が責任をもって確保」と書かれていました。こうした後ろ盾がはっきり示されていてこそ自治体病院としての役割を十分に発揮できるのだと思います。	1	地方独立行政法人法上、公営企業型地方独立行政法人(市立病院機構はこれに該当します。)の事業の経費は、原則として当該法人の事業の経営に伴う収入をもって充てなければならないとされています。そのうえで、目標(案)においては、自治体病院として担うべき政策医療の分野において、十分な努力を行ってもなお診療収入をもって充てることができない経費は、京都市の一般会計からの運営費交付金として市民の負担により賄われていることを十分認識したうえで、適切な運営費交付金を中期計画に計上するとともに、病院事業全体として、効率的経営、収益的収支の向上に努め、自立した運営を図ることとし、京都市立病院機構の努力を求めています。	
46		運営費交付金を一律的に抑制するようなことを京都市はすべきではない。独法化を決める際の条例会議で、京都市は、「経営効率最優先ではない」、「市の責任は後退しない」と繰り返し答弁していたはずで、独法化議案論議の時に京都市が説明していた要点を「前文」にきちんと謳うべきです。	1		
47		感染症医療などの不採算医療の提供について、自治体病院として果たすべき役割をしっかりと果たせるよう、京都市からの支援(運営費交付金)が必要だと思います。	3		
48		「着実な収益性の向上」、「持続可能な経営の確保」はとても重要だと思います。 ただ、公的病院として、他の民間病院が行わない採算の悪い医療などに対する京都市の支援について具体的な明記が必要だと思います。	1		
49		運営費交付金の縮減(第2期中期計画期間中に毎年1億円ずつ、4年間で合計10億円)を押しつけることはやめるべきではないでしょうか。	1		国の繰出基準に基づき、法人の事業計画を踏まえ、適切に対応してまいります。
50		独立行政法人となったのだから、自治体病院ということに甘えず、自助努力で独立採算を目指すべきである。そのためには患者負担が多少増えてもやむを得ない。医療サービスはタダと勘違いされている方(特に高齢者や生活保護の方)が多いのでは？	1		病院事業全体として、効率的な運営、収益的収支の向上による自立した運営を図ることや、適切な患者負担の設定について、目標(案)に明記しております。
51		収益の確保とか未収金などと書いてありますが、まず医療の提供をしっかりとしてほしい。お金のことはその次です。	1		京都市立病院機構において、政策医療をはじめとする医療の提供は最も重要な役割ですが、それを支える京都市立病院機構の自立した運営も欠かすことができないものであるため、いずれも目標(案)に明記しています。

地方独立行政法人京都市立病院機構中期目標(案)についていただいた市民意見に対する本市の考え方

NO	御意見がある項目	御意見の要旨	件数	本市の考え方
52		未収金問題について、市立病院はきちんと対応していると思うが、最近外国人観光客も増え、未収金問題が多発しないのか心配です。	1	市立病院においては、外国人受診者の対応を進めるとともに、京都市においても、未収金問題については、国への対応を求めているところです。 なお、現在のところ、市立病院における訪日外国人受診者に係る未収金は少額にとどまっております。
53	財務内容の改善に関する事項	老朽化した建物の建て替えや、高額な医療機器を購入する時には多額の資金が必要になると思いますので、計画的に設備投資をすることが必要だと思います。	1	継続的、計画的な事業運営に向け、「長期的な視点」による経営改善の推進を目標(案)に明記しております。
54		今回、「3 経営改善の実施」において、計画的な資金管理及び調達を掲げておられますが、この目標の4年間だけでなく、資金管理等はもっと長期の視点で計画を立てる必要があると思います。	1	
55	その他業務運営に関する重要事項	PFI手法の活用については、導入を京都市が決めた際に、VFMが期待できるとの前提があったはずですが、長期契約とはいえ、一定途中段階でその検証を行うべきではないでしょうか。そうしないと透明性がないまま満期まで続けることになり、市民の納得が得られないと思います。	1	<p>PFI方式の導入の可否を判断するに当たり、PSCとの比較により算定したVFM(※2)については、算定の基礎となる当院の医療機能や物価等の社会経済上の変化が見られ、前提条件が大きく異なることから、現時点でのコストを直接比較できるものではありません。</p> <p>なお、PFI事業(※1)の執行状況については、毎月のモニタリングにおいて、入札時に本市が示したサービス水準に達しているか否かを判断し、業務の質を担保するとともに、当該結果を市立病院のホームページ上で公表する等、透明性も確保しながらPFI事業を適切に運営しております。</p> <p>※1 PFI(Private Finance Initiative)事業： 公共施設等の建設、維持管理、運営等を民間の資金、経営能力及び技術的能力を活用して行う手法。民間の資金、経営能力及び技術的能力を活用し、民間事業者の自主性と創意工夫を尊重することにより、効率的かつ効果的に実施することが可能となる。</p> <p>※2 VFM(Value For Money)： PFI事業における最も重要な概念の一つで、支払い(Money)に対して最も価値の高いサービス(Value)を供給するという考え方。</p>

地方独立行政法人京都市立病院機構中期目標(案)についていただいた市民意見に対する本市の考え方

NO	御意見がある項目	御意見の要旨	件数	本市の考え方
56	その他業務運営に関する重要事項	PFI手法によるメリットをもっと具体的に教えていただきたい。	1	<p>医療サービスの提供に当たり不可欠である医療周辺業務(検体検査業務など)について、SPC(市立病院の医療周辺業務を行うために設立された特別目的会社)に包括的に委託することで、役割分担を明確にし、医師や看護師等の医療スタッフが本来業務により一層注力でき、医療の質の向上に資するものと考えています。</p> <p>また、各業務を包括的に委託するため、業務間の縦割りによる弊害を防ぎ、患者を中心とした柔軟な医療サービスの提供が可能になるというメリットがあります。</p>
57		京都市内の看護大学に通っています。関係機関との連携のところで、養成機関との連携を進めて、実習生や就職の受け入れを増やしてほしいです。	1	市立病院では、看護実習生の受入等、市内の看護系大学との連携の強化について、目標(案)に明記しております。
58		以前に家族が市立病院にお世話になっていたこともあって、看護師になりたいと考えていたことがありました。もう学生ではないですが、市立病院も奨学金の制度をつくって、看護師を目指す方を支援してはどうですか。	1	京都市立病院機構独自の奨学金制度はありませんが、市内の私立大学の4年制看護学科に在籍している学生で、経済的理由により修学困難と認められる方に対し、京都市において、京都市看護師修学資金融資制度を実施しております。